



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 アイフル株式会社

上場取引所 東

コード番号 8515 URL <https://www.aiful.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 光秀

問合せ先責任者 (役職名) 財務副本部長 (氏名) 安藤 俊明

TEL 03-4503-6050

定時株主総会開催予定日 2023年6月27日

配当支払開始予定日

2023年6月8日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	144,152	9.1	23,724	111.0	24,428	99.2	22,343	81.1
2022年3月期	132,097	3.6	11,242	35.9	12,265	36.5	12,334	33.1

(注) 包括利益 2023年3月期 23,550百万円 (90.5%) 2022年3月期 12,363百万円 (34.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	46.19		13.5	2.4	16.5
2022年3月期	25.50		8.2	1.4	8.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 184百万円 2022年3月期 150百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,070,485	179,593	16.4	364.01
2022年3月期	935,642	156,526	16.4	318.17

(参考) 自己資本 2023年3月期 176,072百万円 2022年3月期 153,900百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	70,589	8,947	78,195	37,885
2022年3月期	15,628	2,218	21,028	39,147

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		1.00	1.00	483	3.9	0.3
2023年3月期		0.00		1.00	1.00	483	2.2	0.3
2024年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00		2.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,700	10.4	7,600	37.5	7,600	39.9	7,100	39.7	14.68
通期	161,200	11.8	25,200	6.2	25,500	4.4	22,600	1.1	46.72

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】16ページ「連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご確認ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2023年3月期	484,620,136 株	2022年3月期	484,620,136 株
2023年3月期	917,614 株	2022年3月期	917,470 株
2023年3月期	483,702,593 株	2022年3月期	483,702,666 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	88,449	6.4	19,127	302.1	32,213	377.4	31,028	292.2
2022年3月期	83,117	5.4	4,757	54.6	6,748	43.6	7,912	17.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	64.15	
2022年3月期	16.36	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2023年3月期	834,868		140,660		16.8		290.80	
2022年3月期	711,185		110,096		15.5		227.61	

(参考) 自己資本 2023年3月期 140,660百万円 2022年3月期 110,096百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,800	11.7	7,100	25.8	8,100	62.2	7,800	62.1	16.13
通期	99,100	12.0	21,500	12.4	23,800	26.1	22,200	28.5	45.90

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P 2
(1) 当期の経営成績の概況	P 2
(2) 当期の財政状態の概況	P 4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P 5
(4) 今後の見通し	P 5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P 5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P 6
3. 連結財務諸表及び主な注記	P 7
(1) 連結貸借対照表	P 7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P 9
(3) 連結株主資本等変動計算書	P 12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P 14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P 16
(継続企業の前提に関する注記)	P 16
(連結の範囲の変更)	P 16
(会計方針の変更)	P 16
(会計上の見積りの変更)	P 16
(連結貸借対照表関係)	P 17
(セグメント情報等)	P 21
(1株当たり情報)	P 23
(重要な後発事象)	P 23
4. 個別財務諸表	P 24
(1) 貸借対照表	P 24
(2) 損益計算書	P 27
(3) 株主資本等変動計算書	P 28

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への活動制限の緩和により、社会経済活動の回復への動きがみられる一方で、日本銀行の金融政策決定会合における長期金利の引き上げ決定による金利上昇や、ウクライナ情勢に起因するエネルギー・原材料価格の高騰を背景とした物価上昇、それらに伴う景気減速が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

消費者金融業界におきましては、大手各社における新規成約件数が前年同期比で増加するなど、回復傾向が続いております。また、利息返還請求については、着実に減少しているものの、外部環境の変化等の影響を受けやすいことから、引き続き注視が必要な状態であります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、組織やプロダクトのシンプル化を図ることで業務効率化やお客様視点でのU I / U Xを追求するとともに、効果的かつ効率的な広告宣伝費の投下などにより、新規成約件数の増加やコスト改善に取り組んでまいります。また、I T金融グループとしての成長を遂げるべく、I T人材への投資を強化し、デジタル技術を活用したデータ分析やシステム内製化に取り組むとともに、「成長性」と「収益性」の両立によるアセットの拡大や、連結利益最大化に向けた経営資源の適正な活用に努めてまいります。

なお、アイフルグループでは創業から 50 年以上にわたり、企業シンボルとして安心感や誠実さを象徴するハートマークを用いてきましたが、この先の 50 年、100 年を見据え未来に新たな価値を提供していく企業姿勢にふさわしいイメージへのアップグレードを行うため、V I (ビジュアルアイデンティティ) を刷新し、2022 年7月7日より新しく「アートシンボル」および「社名ロゴ」の使用を開始しております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、2022 年4月1日付で従前「その他」に含まれていたすみしんライフカード株式会社は、報告セグメントであるライフカード株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(アイフル株式会社)

[ローン事業]

ローン事業につきましては、テレビCMやWE Bを中心とした効果的な広告戦略のほか、公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改修などU I / U X向上に向けた取り組みを実施し、新規成約件数や営業貸付金残高の増加に努めております。

その結果、当連結会計年度における当社の無担保ローン新規成約件数は、30 万 1 千件 (前期比 43.4%増)、成約率は 31.9% (前期比 1.0 ポイント減) となりました。

また、当連結会計年度末における無担保ローンの営業貸付金残高は 490,096 百万円 (前期末比 9.0%増)、有担保ローンの営業貸付金残高は 2,502 百万円 (前期末比 28.5%減)、事業者ローンの営業貸付金残高は 10,275 百万円 (前期末比 19.0%増)、ローン事業全体の営業貸付金残高は 502,874 百万円 (前期末比 8.9%

増)となりました(債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金 7,427 百万円が含まれております。)

〔信用保証事業〕

信用保証事業につきましては、個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度末における個人向け無担保ローンの支払承諾見返残高は 142,172 百万円(前期末比 12.0%増)、事業者向け無担保ローンの支払承諾見返残高は 42,368 百万円(前期末比 33.4%増)となりました。

なお、事業者向け無担保ローンの支払承諾見返残高のうち 2,350 百万円はAGビジネスサポート株式会社への保証によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度における当社の営業収益は 88,449 百万円(前期比 6.4%増)、営業利益は 19,127 百万円(前期比 302.1%増)、経常利益は 32,213 百万円(前期比 377.4%増)、当期純利益は 31,028 百万円(前期比 292.2%増)となりました。

(ライフカード株式会社)

〔包括信用購入あっせん事業〕

包括信用購入あっせん事業につきましては、テレビCMの再開などにより若年層を中心とした新規会員の獲得に努めるとともに、会員向けWEBサイトや公式アプリの改修によりUI/UXの向上を図り、お客様のニーズに応じた機能や特典を付与することで、稼働率向上などに取り組んでまいりました。

また、更なるブランドロイヤルティの向上を目指し、VI(ビジュアルアイデンティティ)を刷新し、2023年2月1日より新たな「アートシンボル」および「社名ロゴ」の使用を開始しております。

その結果、当連結会計年度における取扱高は 713,038 百万円(前期比 7.6%増)、当連結会計年度末における包括信用購入あっせん事業に係る割賦売掛金残高は 107,219 百万円(前期末比 5.3%増)となりました(債権の流動化によりオフバランスとなった割賦売掛金 6,340 百万円が含まれております。)

〔カードキャッシング事業〕

カードキャッシング事業における、当連結会計年度末の営業貸付金残高は 23,289 百万円(前期末比 1.4%減)となりました(債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金 1,638 百万円が含まれております。)

〔信用保証事業〕

信用保証事業につきましては、個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度末における個人向け無担保ローンの支払承諾見返残高は 27,760 百万円(前期末比 3.5%増)、事業者向け無担保ローンの支払承諾見返残高は 1,261 百万円(前期末比 11.0%増)となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるライフカード株式会社の営業収益は 35,689 百万円（前期比 1.4%増）、営業利益は 1,274 百万円（前期比 10.4%減）、経常利益は 1,419 百万円（前期比 13.2%減）、当期純利益は 911 百万円（前期比 42.5%減）となりました。

（その他）

当連結会計年度における報告セグメントに含まれない連結子会社 7 社（AIRA & AIFUL Public Company Limited、AGビジネスサポート株式会社、AG債権回収株式会社、AGキャピタル株式会社、AGギャランティー株式会社、AGミライバライ株式会社、AGメディカル株式会社）の営業収益は 20,574 百万円（前期比 29.8%増）、営業利益は 1,976 百万円（前期比 49.2%減）、経常利益は 2,044 百万円（前期比 86.0%減）、当期純利益は 1,958 百万円（前期比 86.0%減）となりました。

なお、2022年7月11日付でアイフルギャランティー株式会社がAGギャランティー株式会社に、2023年2月25日付でアイフルビジネスファイナンス株式会社がAGビジネスサポート株式会社にそれぞれ商号変更しております。

（業績の概況）

当連結会計年度における当社グループの営業収益は 144,152 百万円（前期比 9.1%増）となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が 83,230 百万円（前期比 9.0%増）、包括信用購入あっせん収益が 20,508 百万円（前期比 8.9%増）、信用保証収益が 17,030 百万円（前期比 8.3%増）となっております。

営業費用につきましては、428 百万円減少の 120,427 百万円（前期比 0.4%減）となりました。その主な要因といたしましては、広告宣伝費が 5,554 百万円増加の 16,876 百万円（前期比 49.1%増）、貸倒引当金繰入額が 8,085 百万円増加の 36,004 百万円（前期比 29.0%増）、利息返還損失引当金繰入額が 19,929 百万円減少（前期比 100.0%減）となったことなどによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの営業利益は 23,724 百万円（前期比 111.0%増）、経常利益は、24,428 百万円（前期比 99.2%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益 603 百万円を計上した結果、22,343 百万円（前期比 81.1%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当連結会計年度末における資産は、前期末に比べ 134,842 百万円増加の 1,070,485 百万円（前期末比 14.4%増）となりました。増加の主な要因は、営業貸付金が 66,771 百万円、割賦売掛金が 26,314 百万円増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ 111,775 百万円増加の 890,892 百万円（前期末比 14.3%増）となりました。増加の主な要因は、社債及び借入金が 80,834 百万円増加したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ 23,067 百万円増加の 179,593 百万円（前期末比 14.7%増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前期末に比べ1,261百万円減少の37,885百万円（前期末比3.2%減）となりました。当連結会計年度における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは70,589百万円の支出（前期比351.7%増）となりました。これは主に、営業貸付金および割賦売掛金の増加による資金の減少などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは8,947百万円の支出（前期比303.3%増）となりました。これは主に、無形固定資産および投資有価証券の取得による支出などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは78,195百万円の収入（前期比271.9%増）となりました。これは主に、社債の発行および借入れによる収入などによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症への活動制限の緩和により、資金需要の回復が見込まれる一方で、エネルギー・原材料価格の高騰を背景とした物価上昇の影響によって、景気減速が警戒されるなど、不透明な経営環境が続くと思われまます。

また、異業種からの新規参入やDX化の加速等、当社グループを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、変化に対して迅速に対応することが求められております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、経営課題の一つである利息返還請求に対応しつつ、ローン事業、クレジットカード事業、信用保証事業、海外事業を中心に、グループ全体で営業アセットの拡大と金融事業の多角化に努め、「安全性」、「収益性」、「成長性」のバランスを重視した経営に引き続き取り組んでまいります。また、変わり続ける環境に対応すべく、アイフルグループブランドの確立とデータ活用的高度化により、ステークホルダーからの強力な支持を得られる企業への変革、ならびにIT・デジタル活用による与信力の最大化や、連結利益最大化に向けた経営資源の適正な活用を図ってまいります。

2024年3月期の当社グループの業績予想におきましては、営業収益が161,200百万円（前期比11.8%増）、営業利益が25,200百万円（前期比6.2%増）、経常利益が25,500百万円（前期比4.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が22,600百万円（前期比1.1%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、中長期的な利益成長を通じた株主価値の極大化を目指しつつ、安定的な内部留保を確保し、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本

方針としております。当期末の配当につきましては当初の予定どおり、1株1円とする予定です。また、次期の配当につきましては、1株当たり年間1円（期末1円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来の I F R S 適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,448	43,251
営業貸付金	547,457	614,229
割賦売掛金	110,244	136,559
営業投資有価証券	2,312	2,540
支払承諾見返	193,225	221,659
その他営業債権	10,241	13,185
買取債権	5,338	6,985
その他	25,440	34,576
貸倒引当金	△57,906	△63,040
流動資産合計	880,801	1,009,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,807	23,837
減価償却累計額	△18,593	△18,811
建物及び構築物 (純額)	5,214	5,026
機械装置及び運搬具	432	450
減価償却累計額	△355	△292
機械装置及び運搬具 (純額)	77	158
器具及び備品	5,344	5,440
減価償却累計額	△4,406	△4,555
器具備品 (純額)	937	884
土地	8,900	8,900
リース資産	4,980	5,316
減価償却累計額	△3,318	△4,121
リース資産 (純額)	1,662	1,194
建設仮勘定	116	73
有形固定資産合計	16,908	16,238
無形固定資産		
ソフトウェア	6,635	8,235
その他	101	157
無形固定資産合計	6,737	8,392
投資その他の資産		
投資有価証券	6,571	10,978
破産更生債権等	22,567	18,167
繰延税金資産	12,599	15,012
敷金及び保証金	5,322	3,913
その他	4,474	4,417
貸倒引当金	△20,339	△16,582
投資その他の資産合計	31,195	35,906
固定資産合計	54,841	60,537
資産合計	935,642	1,070,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,919	43,066
支払承諾	193,225	221,659
短期借入金	77,310	69,582
関係会社短期借入金	1,533	1,734
コマーシャル・ペーパー	2,500	12,000
1年内償還予定の社債	35,000	—
1年内返済予定の長期借入金	166,786	183,832
未払法人税等	860	2,006
賞与引当金	1,415	1,555
役員賞与引当金	40	45
株式給付引当金	—	50
割賦利益繰延	3,021	7,094
その他	26,644	30,284
流動負債合計	549,257	572,912
固定負債		
社債	—	45,000
長期借入金	197,271	249,087
繰延税金負債	7	—
利息返還損失引当金	24,594	17,383
その他	7,986	6,509
固定負債合計	229,859	317,979
負債合計	779,116	890,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	14,017	14,017
利益剰余金	47,560	69,419
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	152,495	174,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,098	1,123
為替換算調整勘定	306	595
その他の包括利益累計額合計	1,404	1,718
非支配株主持分	2,626	3,520
純資産合計	156,526	179,593
負債純資産合計	935,642	1,070,485

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日)
営業収益		
営業貸付金利息	76,332	83,230
包括信用購入あっせん収益	18,833	20,508
個別信用購入あっせん収益	1,266	2,649
信用保証収益	15,730	17,030
その他の金融収益	5	5
その他の営業収益		
買取債権回収高	889	1,094
償却債権取立益	7,492	7,488
その他	11,547	12,144
その他の営業収益計	19,928	20,727
営業収益合計	132,097	144,152
営業費用		
金融費用		
支払利息	5,872	5,889
社債利息	433	429
その他	735	749
金融費用計	7,041	7,068
売上原価		
その他	199	229
売上原価合計	199	229
その他の営業費用		
広告宣伝費	11,321	16,876
支払手数料	15,283	17,958
貸倒引当金繰入額	27,918	36,004
利息返還損失引当金繰入額	19,929	—
従業員給与手当賞与	12,071	12,333
賞与引当金繰入額	1,303	1,462
退職給付費用	502	509
その他	25,283	27,985
その他の営業費用計	113,614	113,129
営業費用合計	120,855	120,427
営業利益	11,242	23,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業外収益		
貸付金利息	224	19
持分法による投資利益	150	184
為替差益	370	204
不動産賃貸料	77	93
その他	236	246
営業外収益合計	1,058	747
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	3	3
匿名組合投資損失	—	16
感染症関連費用	10	4
その他	20	18
営業外費用合計	35	44
経常利益	12,265	24,428
特別損失		
関係会社株式評価損	—	14
貸倒引当金繰入額	—	453
特別損失合計	—	468
税金等調整前当期純利益	12,265	23,959
法人税、住民税及び事業税	2,602	3,349
法人税等調整額	△3,374	△2,336
法人税等合計	△772	1,013
当期純利益	13,037	22,946
非支配株主に帰属する当期純利益	703	603
親会社株主に帰属する当期純利益	12,334	22,343

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	13,037	22,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659	24
為替換算調整勘定	△15	579
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△674	604
包括利益	12,363	23,550
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,719	22,656
非支配株主に係る包括利益	643	894

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	94,028	13,948	38,669	△3,110	143,536
会計方針の変更による累積的影響額			△2,960		△2,960
会計方針の変更を反映した当期首残高	94,028	13,948	35,709	△3,110	140,575
当期変動額					
剰余金の配当			△483		△483
親会社株主に帰属する当期純利益			12,334		12,334
自己株式の取得					—
連結子会社株式の取得による持分の増減		68			68
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	68	11,850	—	11,919
当期末残高	94,028	14,017	47,560	△3,110	152,495

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,705	314	2,019	2,136	147,692
会計方針の変更による累積的影響額			—		△2,960
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,705	314	2,019	2,136	144,732
当期変動額					
剰余金の配当					△483
親会社株主に帰属する当期純利益					12,334
自己株式の取得					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					68
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△606	△7	△614	489	△125
当期変動額合計	△606	△7	△614	489	11,794
当期末残高	1,098	306	1,404	2,626	156,526

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	94,028	14,017	47,560	△3,110	152,495
会計方針の変更による累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	94,028	14,017	47,560	△3,110	152,495
当期変動額					
剰余金の配当			△483		△483
親会社株主に帰属する当期純利益			22,343		22,343
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	21,859	△0	21,859
当期末残高	94,028	14,017	69,419	△3,110	174,354

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,098	306	1,404	2,626	156,526
会計方針の変更による累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,098	306	1,404	2,626	156,526
当期変動額					
剰余金の配当					△483
親会社株主に帰属する当期純利益					22,343
自己株式の取得					△0
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	24	288	313	894	1,207
当期変動額合計	24	288	313	894	23,067
当期末残高	1,123	595	1,718	3,520	179,593

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,265	23,959
減価償却費	3,417	3,599
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	132	897
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	139
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	4
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	50
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,560	—
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	11,680	△7,210
受取利息及び受取配当金	△254	△54
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	14
持分法による投資損益 (△は益)	△150	△184
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△31,185	△64,201
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△8,524	△26,314
その他営業債権の増減額 (△は増加)	△1,492	△2,943
買取債権の増減額 (△は増加)	△1,867	△1,647
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△484	4,400
営業保証金等の増減額 (△は増加)	—	1,218
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,284	△9,685
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	7,880	9,724
その他	1,133	△677
小計	△12,308	△68,909
利息及び配当金の受取額	342	74
法人税等の還付額	32	482
法人税等の支払額	△3,694	△2,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,628	△70,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,297	△5,351
定期預金の払戻による収入	5,001	5,286
有形固定資産の取得による支出	△461	△996
無形固定資産の取得による支出	△3,059	△3,487
投資有価証券の取得による支出	△281	△4,246
その他	1,879	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,218	△8,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,607,229	1,304,135
短期借入金の返済による支出	△1,629,114	△1,312,462
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	2,500	40,500
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△31,000
長期借入れによる収入	201,495	259,557
長期借入金の返済による支出	△164,251	△190,908
社債の発行による収入	20,000	45,000
社債の償還による支出	△15,075	△35,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△142	—
配当金の支払額	△483	△483
その他	△1,129	△1,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,028	78,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,201	△1,261
現金及び現金同等物の期首残高	35,945	39,147
現金及び現金同等物の期末残高	39,147	37,885

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当社の連結子会社であったすみしんライフカード株式会社は、2022年4月1日付で連結子会社であるライフカード株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」といいます。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(貸倒引当金の見積りの変更)

従来、当社の消費者向け債権に関する貸倒引当金については、貸付種別ごとに債務者の遅延期間等に応じて分類し、それぞれの分類における平均残存期間などの算定期間における貸倒実績率を用いて算出しておりましたが、一部の債権管理区分の見直しを行った結果、債務者の債務状態(弁護士介入等)に応じた分類にて算定する方法に、第1四半期連結会計期間の期首より変更いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益が1,762百万円増加しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 担保に供している資産及びその対応する債務

担保に供している資産

前連結会計年度 (2022年3月31日)		当連結会計年度 (2023年3月31日)	
(1) 担保に供している資産		(1) 担保に供している資産	
現金及び預金	5,267百万円	現金及び預金	5,332百万円
営業貸付金	337,276	営業貸付金	350,717
割賦売掛金	42,433	割賦売掛金	45,780
建物及び構築物	3,762	建物及び構築物	3,727
機械装置及び運搬具	8	機械装置及び運搬具	7
器具及び備品	55	器具及び備品	64
土地	8,816	土地	8,816
計	397,620	計	414,444
(2) 対応する債務		(2) 対応する債務	
短期借入金	68,510百万円	短期借入金	56,500百万円
1年内返済予定の長期借入金	95,567	1年内返済予定の長期借入金	102,246
長期借入金	127,030	長期借入金	156,052
計	291,108	計	314,798

イ 当連結会計年度末における上記金額は、債権の流動化に係るもの（営業貸付金189,259百万円、短期借入金10,000百万円、1年内返済予定の長期借入金28,852百万円、長期借入金74,207百万円）を含んでおります。

ロ 営業貸付金及び割賦売掛金の金額の一部につきましては、債権譲渡登記時点の金額であります。

ハ 上記の資産のうち、現金及び預金422百万円を非連結子会社であるPT REKSA FINANCEの金融機関からの借入金の担保として差し入れております。

イ 当連結会計年度末における上記金額は、債権の流動化に係るもの（営業貸付金184,506百万円、1年内返済予定の長期借入金24,937百万円、長期借入金74,539百万円）を含んでおります。

ロ 営業貸付金及び割賦売掛金の金額の一部につきましては、債権譲渡登記時点の金額であります。

ハ 上記の資産のうち、現金及び預金422百万円を非連結子会社であるPT REKSA FINANCEの金融機関からの借入金の担保として差し入れております。

※2 営業貸付金に含まれる個人向け無担保貸付金残高は次のとおりであります。

前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
494,678百万円	542,992百万円

※3 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
投資有価証券（株式）	2,804百万円	7,150百万円
投資有価証券（その他の有価証券）	1,232百万円	1,421百万円

※4 割賦売掛金

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
包括信用購入あっせん	95,407百万円	100,988百万円
個別信用購入あっせん	14,836	35,570
計	110,244	136,559

※5 割賦利益繰延

前連結会計年度 (2022年3月31日)					当連結会計年度 (2023年3月31日)				
	当期首残高 (百万円)	当期受入高 (百万円)	当期実現高 (百万円)	当期末残高 (百万円)		当期首残高 (百万円)	当期受入高 (百万円)	当期実現高 (百万円)	当期末残高 (百万円)
包括信用購入あっせん	439	3,518	3,502	454	包括信用購入あっせん	454	1,574	1,466	562
個別信用購入あっせん	1,383	2,686	1,503	2,566	個別信用購入あっせん	2,566	7,334	3,368	6,532
計	1,822	6,204	5,006	3,021	計	3,021	8,908	4,835	7,094

※6 債権の流動化に伴うオフバランスとなった金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
営業貸付金	34,891百万円	34,531百万円
割賦売掛金	6,536百万円	6,340百万円

7 偶発債務

保証債務

当社は、非連結子会社であるPT REKSA FINANCEの金融機関からの借入金に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
PT REKSA FINANCE	1,969百万円	3,408百万円

※8 不良債権の状況

不良債権の状況は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)				当連結会計年度 (2023年3月31日)			
	営業貸付金及び 破産更生債権等		その他 (百万円)	計 (百万円)	営業貸付金及び 破産更生債権等		その他 (百万円)	計 (百万円)
	無担保 ローン (百万円)	無担保 ローン以外 (百万円)			無担保 ローン (百万円)	無担保 ローン以外 (百万円)		
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	657	20,443	454	21,555	597	16,052	468	17,118
危険債権	21,101	4,492	6,627	32,221	24,940	6,307	8,232	39,480
三月以上 延滞債権	9,701	436	—	10,137	9,556	404	—	9,960
貸出条件 緩和債権	37,416	2,872	3,640	43,928	44,743	2,301	4,997	52,042
正常債権	427,081	45,341	197,329	669,752	464,351	62,627	226,414	753,393
計	495,958	73,585	208,052	777,595	544,189	87,694	240,112	871,996

なお、上記それぞれの概念は次のとおりであります。

(破産更生債権及びこれらに準ずる債権)

破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている債権であります。なお、破産更生債権等につきましては、債権の個別評価による回収不能見込額相当額の貸倒引当金を計上しております。

(危険債権)

危険債権とは、返済状況が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権であり、破産更生債権及びこれらに準ずる債権に該当しないものであります。

(三月以上延滞債権)

三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している貸付金であり、破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものであります。

(貸出条件緩和債権)

貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免や長期分割などによって、債務者に有利となる取り決めを行った貸付金のうち、定期的に入金されている債権であり、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものであります。

(正常債権)

正常債権とは、前掲いずれにも該当しない、返済状況に問題のない債権であります。

※9 営業貸付金に係る貸出コミットメント

(前連結会計年度)

流動化によりオフバランスされた債権を含む営業貸付金のうち、488,273百万円は、リボルビング契約によるものであります。同契約は、顧客からの申し出を超えない範囲で一定の利用限度枠を決めておき、利用限度額の範囲で反復して追加借入ができる契約であります。

同契約に係る融資未実行残高は、811,301百万円であります。

なお、同契約には、顧客の信用状況の変化、その他当社グループが必要と認めた事由があるときは、契約後も随時契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

また、この融資未実行残高には、残高がない顧客や契約締結後一度も貸出実行の申し出がない顧客も含まれており、融資実行されずに終了するものも多くあることから、融資未実行残高そのものが、必ずしも当社グループの将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

(当連結会計年度)

流動化によりオフバランスされた債権を含む営業貸付金のうち、553,769百万円は、リボルビング契約によるものであります。同契約は、顧客からの申し出を超えない範囲で一定の利用限度枠を決めておき、利用限度額の範囲で反復して追加借入ができる契約であります。

同契約に係る融資未実行残高は、811,755百万円であります。

なお、同契約には、顧客の信用状況の変化、その他当社グループが必要と認めた事由があるときは、契約後も随時契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

また、この融資未実行残高には、残高がない顧客や契約締結後一度も貸出実行の申し出がない顧客も含まれており、融資実行されずに終了するものも多くあることから、融資未実行残高そのものが、必ずしも当社グループの将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

※10 貸倒引当金のうち、営業貸付金等に優先的に充当すると見込まれる利息返還見積額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
2,898百万円	2,160百万円

※11 その他のうち、契約負債の金額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
3,792百万円	3,721百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結対象子会社における各社を戦略立案の最小単位として、事業を展開しております。

従って、当社グループにおいては、主要事業会社である「アイフル株式会社」及び「ライフカード株式会社」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「アイフル株式会社」は、ローン事業及び信用保証事業を主として営んでおります。「ライフカード株式会社」は、包括信用購入あっせん事業及び信用保証事業を主として営んでおります。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度から、従前「その他」に含まれていたすみしんライフカード株式会社は、報告セグメントである「ライフカード株式会社」を存続会社とする吸収合併により消滅しております。なお、当連結会計年度の比較情報として開示した前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示したセグメント情報との間に相違が見られます。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、当期純利益の数値であります。

セグメント間の内部営業収益又は振替高は、提供会社における原価相当額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	アイフル 株式会社	ライフ カード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	82,898	33,409	116,308	15,789	132,097
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	218	293	511	58	569
計	83,117	33,702	116,820	15,847	132,667
セグメント利益	7,912	1,585	9,497	13,936	23,434
セグメント資産	711,185	209,241	920,426	113,604	1,034,031

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AGビジネスサポート株式会社及びAG債権回収株式会社等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	アイフル 株式会社	ライフ カード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	88,294	35,349	123,643	20,508	144,152
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	155	339	495	65	560
計	88,449	35,689	124,138	20,574	144,713
セグメント利益	31,028	911	31,939	1,958	33,897
セグメント資産	834,868	216,305	1,051,173	143,976	1,195,150

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AGビジネスサポート株式会社及びAG債権回収株式会社等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

営業収益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	116,820	124,138
「その他」の区分の営業収益	15,847	20,574
セグメント間取引消去	△569	△560
連結財務諸表の営業収益	132,097	144,152

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,497	31,939
「その他」の区分の利益	13,936	1,958
セグメント間取引消去	25	△11,080
その他の調整額	△11,125	△473
連結財務諸表の親会社株主に帰属する当期純利益	12,334	22,343

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	920,426	1,051,173
「その他」の区分の資産	113,604	143,976
その他の調整額	△98,388	△124,664
連結財務諸表の資産合計	935,642	1,070,485

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	318円17銭	1株当たり純資産額	364円01銭
1株当たり当期純利益	25円50銭	1株当たり当期純利益	46円19銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	12,334百万円	22,343百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	12,334百万円	22,343百万円
普通株式の期中平均株式数	483,702,666株	483,702,593株

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額	156,526百万円	179,593百万円
純資産の部の合計額から控除する金額	2,626百万円	3,520百万円
(うち非支配株主持分)	(2,626百万円)	(3,520百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	153,900百万円	176,072百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	483,702,666株	483,702,522株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,387	20,826
営業貸付金	450,934	495,446
割賦売掛金	226	185
支払承諾見返	158,645	184,541
その他営業債権	8,802	11,326
前払費用	454	407
未収収益	3,228	3,562
その他	7,169	9,298
貸倒引当金	△39,787	△39,854
流動資産合計	605,061	685,740
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,963	13,008
減価償却累計額	△9,147	△9,322
建物(純額)	3,816	3,686
構築物	879	819
減価償却累計額	△707	△679
構築物(純額)	171	139
機械及び装置	146	146
減価償却累計額	△138	△139
機械及び装置(純額)	8	7
車両運搬具	—	0
減価償却累計額	—	△0
車両運搬具(純額)	—	0
器具備品	3,451	3,479
減価償却累計額	△2,834	△2,993
器具備品(純額)	616	486
土地	6,810	6,810
リース資産	1,194	1,194
減価償却累計額	△503	△708
リース資産(純額)	691	486
建設仮勘定	116	42
有形固定資産合計	12,230	11,659
無形固定資産		
ソフトウェア	2,878	4,121
その他	24	79
無形固定資産合計	2,902	4,201

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,251	1,279
関係会社株式	30,383	34,766
関係会社長期貸付金	45,702	83,645
破産更生債権等	14,523	11,676
長期前払費用	347	307
繰延税金資産	9,670	10,471
敷金及び保証金	1,286	1,183
その他	445	374
貸倒引当金	△12,618	△10,437
投資その他の資産合計	90,990	133,267
固定資産合計	106,124	149,127
資産合計	711,185	834,868
負債の部		
流動負債		
支払承諾	158,645	184,541
短期借入金	15,426	3,550
関係会社短期借入金	1,533	1,734
コマーシャル・ペーパー	2,500	12,000
1年内償還予定の社債	35,000	—
1年内返済予定の長期借入金	162,330	177,585
リース債務	224	209
未払金	5,943	5,412
未払費用	542	647
未払法人税等	630	1,418
賞与引当金	1,383	1,482
役員賞与引当金	33	39
株式給付引当金	—	44
その他	547	539
流動負債合計	384,741	389,206
固定負債		
社債	—	45,000
長期借入金	191,684	241,916
リース債務	537	328
利息返還損失引当金	21,334	14,943
資産除去債務	1,991	2,013
その他	798	799
固定負債合計	216,347	305,001
負債合計	601,089	694,207

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年 3 月31日)	当事業年度 (2023年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,028	94,028
資本剰余金		
資本準備金	52	52
資本剰余金合計	52	52
利益剰余金		
利益準備金	48	96
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	18,602	49,098
利益剰余金合計	18,650	49,195
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	109,621	140,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	475	494
評価・換算差額等合計	475	494
純資産合計	110,096	140,660
負債純資産合計	711,185	834,868

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)	当事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)
営業収益		
営業貸付金利息	63,071	67,596
その他の金融収益	0	0
その他の営業収益		
信用保証収益	11,447	12,447
償却債権取立益	6,405	6,357
その他	2,192	2,048
その他の営業収益計	20,045	20,852
営業収益合計	83,117	88,449
営業費用		
金融費用		
支払利息	4,266	4,078
社債利息	433	429
その他	721	736
金融費用計	5,421	5,245
その他の営業費用		
広告宣伝費	9,644	14,097
支払手数料	6,002	6,449
貸倒引当金繰入額	20,701	22,406
利息返還損失引当金繰入額	17,283	—
従業員給料及び手当	5,883	5,866
賞与引当金繰入額	816	876
減価償却費	1,706	1,745
その他	10,899	12,634
その他の営業費用計	72,938	64,076
営業費用合計	78,359	69,322
営業利益	4,757	19,127
営業外収益		
貸付金利息	1,018	1,387
受取配当金	32	10,831
その他	963	881
営業外収益合計	2,014	13,100
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	3	3
感染症関連費用	10	4
その他	8	6
営業外費用合計	23	15
経常利益	6,748	32,213
特別損失		
関係会社株式評価損	—	14
貸倒引当金繰入額	—	453
特別損失合計	—	468
税引前当期純利益	6,748	31,744
法人税、住民税及び事業税	2,028	1,526
法人税等調整額	△3,192	△809
法人税等合計	△1,163	716
当期純利益	7,912	31,028

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計		繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	94,028	52	52	—	11,222	11,222
当期変動額						
剰余金の配当				48	△532	△483
当期純利益					7,912	7,912
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	48	7,380	7,428
当期末残高	94,028	52	52	48	18,602	18,650

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△3,110	102,192	462	462	102,655
当期変動額					
剰余金の配当		△483			△483
当期純利益		7,912			7,912
自己株式の取得		—			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			12	12	12
当期変動額合計	—	7,428	12	12	7,441
当期末残高	△3,110	109,621	475	475	110,096

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	94,028	52	52	48	18,602	18,650
当期変動額						
剰余金の配当				48	△532	△483
当期純利益					31,028	31,028
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						
当期変動額合計	—	—	—	48	30,496	30,544
当期末残高	94,028	52	52	96	49,098	49,195

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△3,110	109,621	475	475	110,096
当期変動額					
剰余金の配当		△483			△483
当期純利益		31,028			31,028
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）			19	19	19
当期変動額合計	△0	30,544	19	19	30,564
当期末残高	△3,110	140,165	494	494	140,660